

■戸塚神父墓参

8月17日は桜町病院の創立者である戸塚神父の命日です。毎年追悼ミサ、墓参が執り行われています。本年も早朝よりカトリック小金井教会聖堂において追悼のミサが捧げられました。その後、修道院のシスター達や小林院長、職員が揃ってカトリック府中墓地へ向かいました。桜町病院は1939年5月24日に創立し、その約3ヶ月後に戸塚神父は帰天されたことになります。師の志は「私たちはキリストのように人を愛し、病める人、苦しむ人、もっとも弱い人に奉仕します」という病院の基本理念として受け継がれています。

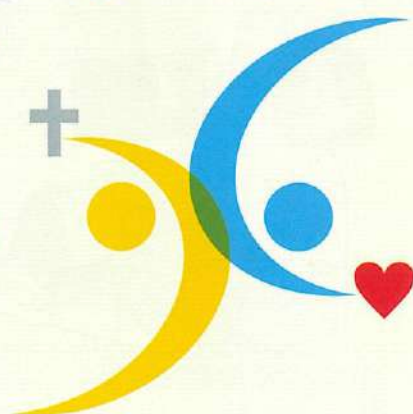


■トリアージ訓練実施

トリアージとは、大規模災害等に多数の負傷者を受け入れる場合、限られた医療資源でできるだけ多くの人を助けるため、重症度により負傷者の搬送や治療の優先順位をつけることです。8月31日(土)15時15分より、桜町病院の職員、小金井市医師会の先生方、小金井太陽病院、小金井リハビリテーション病院、小金井市役所にもご参加いただき、合計97名でトリアージ訓練を行いました。当日は残暑厳しい中、小金井市の災害医療コーディネーターでもある当院の村田医師より訓練の概要の説明を行った後、実際に病院駐車場内にトリアージエリアを作り、医師や看護師を中心に45名の患者役にトリアージを実施、迅速に適切な判断が求められる訓練に緊迫感を持って取り組みました。



ご存知ですか？



桜町マインドロゴマーク

このマークを目にされたことがあるでしょうか。このマークは「桜町マインド」のロゴマークです。

「桜町マインド」とは、「患者さんの声に耳を傾ける」「患者さんの痛みや苦しみを理解する」「患者さんの傍に寄り添う」というケアの姿勢をもって患者さんに接する職員の心を表現したものです。職員と患者さんはS字を形作り、職員が温かい心(ハート)で患者さんに寄り添い、カトリックの十字架がそれを見守り支えています。またS字には桜町病院のS、寄り添う=snuggle(スナグル)、安全=safe(セイフ)、そして信頼=secure(セキユア)の意味も込められています。

編集後記 今年も暑かった夏から秋の気配を感じる季節となりましたが、恐ろしい台風の時節でもあり、各地で大きな被害が出ています。被災された方々にお見舞い申し上げます。さくら第27号をお届けします。今号では当院における周産期に係る取り組みを特集しています。多くの方々にお手にとってご覧いただきたいと思います。(周)

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) <http://www.sakuramachi-hp.or.jp/>

基本理念

私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

基本方針

1. 地域の医療機関や福祉施設と密接な連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 患者さんの全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 医療従事者の力を結集した患者さん中心の総合的なチーム医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安全・安心な医療を提供します。
5. 患者さんの声に誠心誠意耳を傾けます。

Close Up!

産婦人科の役割

～安心・安全な出産・低侵襲手術の進歩

産婦人科医療は女性の身体を扱う診療科です。その年齢層は10代から時には90代の方まで診療致します。当院ではそのニーズに応えるべく周産期医療から婦人科手術まで常に女性の身体を考えた優しい治療を提供すべく努力しています。当院産婦人科診療内容は、妊娠、出産の周産期管理を始め、子宮筋腫、卵巣腫瘍などの良性腫瘍性疾患まで様々です。

産科部門では、最近では当院でも無痛分娩が増加傾向にあります。陣痛の痛みを和らげるのみではなく、妊娠高血圧症候群に罹患している方や、疼痛に対し強い恐怖感のある方には非常に有用な手段であり、帝王切開の回避につながります。今後も急速に需要が増えることが予想されるため当科としても診療体制を確立していく予定です。

無痛分娩は硬膜外麻酔という特殊な麻酔を背中から行い痛みを和らげる方法です。欧米ではごく一般的な方法ですが、日本ではまだそこまで一般的ではありません。その理由として、産科麻酔医不足と、分娩施設の集約化がなされず医師が偏在していることがあります。幸いにも当院では無痛分娩800例以上の実績・経験のある医師がおり、また麻酔科医も在籍しており安心して無痛分娩を行えます。しかしながら夜間・休日帯は対応困難なケースもあり現在は計画での無痛分娩を推奨しています。無痛分娩を行い無事に出産された患者様の満足度は非常に高いです。

一方で、出産後もお母さん、お子さんのケアが重要となってきます。ここ最近では高齢出産や核家族化が

増加しています。子育てを手伝ってもらえるような環境が少なく、疲労や不安からご相談される患者様も少なくありません。そのような方々のための、『まなざし』というお母さん達の会も設けています。ママ友になり子育てについて話しあったり、近況を報告しあったりしてママとしても成長できると思います。

入院面では面会制限を緩和し、今後は産後マタニティケアとして産褥入院の導入を計画しています。出産後3ヶ月くらいまでの方々を対象とし、日頃の疲れをとるだけではなく、子育て不安要素の改善も含め、ひと時の癒しの場を提供できればと考えております。

今後も患者様が気軽に受診でき、ご相談・ご加療を行えるような産婦人科を作っていけるよう努力いたします。



産婦人科部長
高江洲 陽太郎
Youtaro Takaesu



婦人科部門では、腹腔鏡手術や子宮鏡手術などの低侵襲手術が中心です。腹腔鏡の手術は「吊り上げ法」という方法で行います。この方法は炭酸ガスを

腹腔内に入れてお腹を膨らます方法とは異なり、下腹部をテント状に吊り上げて行います。左右の下腹部より1cm程の傷で行います(80%以上は左右どちらかの傷で治療可能です)。術後の痛みや合併症も少なく、創部も小さく、少ないため美容面でも優れています。身体への負担が少ないため入院期間も短く早期の社会復帰が可能です。内視鏡での手術が困難な方にも創部を小さくするように努力しています。術後も再発予防のために定期的に外来通院で経過を見させていただきます。

今後、桜町病院で出産をお考えの方、婦人科疾患でお困りの方はどうぞ気軽に受診ください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

チーム桜町



母親学級・助産師相談

桜町病院では、妊娠や出産についての必要な知識や実際に役立つ情報を学び充実したマタニティライフを過ごしていただくために、3回にわたって母親学級を開催しています。第1回目は妊娠16週以降の方、第2回目と第3回目は妊娠30週以降で当院でのご出産を予定している方が対象です。第1回目の内容は妊娠中の生活や栄養について助産師と栄養士がお話をします。第2回目は分娩の経過や呼吸法、入院時期と方法、持ち物について産婦人科医師と助産師がお話をします。



第3回目の様子をご紹介します。この日は土曜日のためかご夫婦で参加されている方も多数いらっしゃいました。まず小児科小林院長から生まれたばかりの赤ちゃんの身体の仕組み、ワクチン接種などについてお話がありました。中にはお母さんは「休むこと」、「友達作り」が大切とのアドバイスも。

次に助産師から赤ちゃんを迎え入れるための準備や



必要品、入院中の母乳育児について説明がありました。

休憩を挟んで沐浴の実習にうつります。まずは助産師が一通り順を追って説明しながら人形の赤ちゃんを使って行います。次に参加者の方達が挑戦です。人形の赤ちゃんは本物と同じ位の大きさと重さがあり、実際にベビーバスにお湯をはって行います。参加者のみなさんがとても丁寧にそして真剣に取り組まれていたのが印象的でした。

産婦人科外来では、ご希望の妊産褥婦さん対象に助産師相談を行っています。妊娠中の不安なことから産後の母乳トラブルまで、完全予約制で助産師とゆっくりお話しすることが出来ます。

〈母親学級・助産師相談 予約受付〉

月～金曜日 8:30～16:00

042-383-4111

栄養科のおいしい&ヘルシー Recipe

監修：管理栄養士 松尾敦子

No.5

レバー南蛮漬け

南蛮漬けは臭みもなく、レバーの苦手な方もこれなら食べられたと患者さまから好評です。

レバーの鉄分は吸収率もよくビタミンAも豊富です。ただ貧血対策といって頻繁に食べるとビタミンAの過剰摂取になりかねません。特に妊娠初期の方は1週間に1回くらいにしてください。

材料

4人分(1人分250Kcal たんぱく質15.0g 鉄分9.5g)

・豚レバー薄切り280g ・ねぎ100g(1本)
・片栗粉 ・揚げ油 ・七味唐辛子少々

a. ・にんにく1かけ(すりおろし) ・みりん……20cc
・生姜……1かけ(すりおろし)
・醤油(下味)……20cc

b. ・酢……80cc ・醤油……40cc
・砂糖……30g ・だし汁……100cc
・みりん……40cc

作り方

- ① レバーを流水でよく洗う。
- ② aを混ぜ合わせる。



- ③ ①を②で30分くらい漬け込む。
- ④ ねぎは斜め薄切りにする。
- ⑤ bの材料を鍋でわかしバットなどにあけておく。
- ⑥ ③に片栗粉をまぶして180℃の油でしっかりと揚げる。
- ⑦ 揚げたレバーを⑤に入れる。
- ⑧ ⑦にねぎも入れて漬け込む。
- ⑨ 七味唐辛子をお好みでかける。
- ⑩ つけあわせのサニーレタスなどを敷いた皿に盛り付ける。

医療のコトバQ&A

第5回「4Dエコー」

〈回答者〉産婦人科部長
高江洲 陽太郎

Q. 4Dエコーとはどんなものですか？

A. 通常の妊婦健診で行なっているエコーは2D(断面)で行っています。3Dは立体像、4Dは立体像が動いている状態です。4Dエコーでは、お腹の中の赤ちゃんをリアルタイムで立体的に見ることができます。赤ちゃんのいろんな表情や、動いている様子を見ることが可能です。妊婦健診ではないため、胎児計測などは行いません。お腹の中の赤ちゃんのお写真を思い出に1枚いかがでしょうか？

Q. 撮るタイミングはいつがいいですか？

A. 4Dエコーは、どの週数で見るとも可能ですが、最も見やすい時期は妊娠18週～28週頃です。ある程度、羊水腔があり大きすぎないほうが鮮明に見ることができます。赤ちゃんの向きや位置によっては、見えにくいこともあります。

